

令和3年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

2 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づいて千葉県知事の設立許可を受けて発足。その後施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)」の規定により、公益財団法人への移行を申請、千葉県知事の認定を受け、平成26年4月1日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行した。

第2 事業の実施状況

1 事業の概要

令和3年度の事業は、令和3年2月3日開催の第2回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

2 事業の内容

(1) 印旛沼及び流域における調査研究

① 水質調査結果及び各種環境情報等の収集と取りまとめ

印旛沼及び流域の河川・排水路等で千葉県及び流域市町が実施した水質等に関する調査や印旛沼等の環境保全に関わる各種情報(流域市町が対処した環境に関する問題や苦情、助成した事業、環境関連行事、啓発活動など)について取りまとめた。

これらの結果については、次年度にとりまとめる結果とともに令和4年度発行予定の「令和3・4年版印旛沼白書」に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

② 印旛沼の植生等に関する調査

繁茂面積の拡大が懸念される特定外来生物のナガエツルノゲイトウ及び在来のオニビシについて、効果的な除去対策の検討等に資するため、継続

的に監視が必要と思われる地点を中心に、ドローンを活用し年間を通した繁茂状況の監視・調査を行った。

(2) 講習・学習会及び観察会

① 講習・学習会等への講師派遣

関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
R 3. 7. 28(水)	佐倉草ぶえの丘学習室	印旛沼の概況及び水質簡易試験実習	成田市環境ネットワーク (成田市親子5組12名)

② 観光船による印旛沼観察会(共催:印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域内の住民を対象に、印旛沼に関する理解や知識を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と沼の概況や歴史等に関する学習会を行った。

令和3年7月20日(火)に開催、参加者は66名(うち12歳以下7名)

③ 親子で学ぼう印旛沼(共催:四街道市)

四街道市内在住の親子を対象として、印旛沼や水に関する理解や関心を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と簡易な水質検査の体験学習等を行った。

令和3年8月3日(火)に実施、参加者は7家族21名(うち子ども14名)

なお、八千代市、佐倉市、印西市、酒々井町のそれぞれと共催で実施を予定した同事業については、新型コロナウイルス感染状況を考慮し中止した。

④ 印旛沼環境基金公開講座(共催:佐倉市)

流域住民がより一層印旛沼について理解や愛着を深められるよう、以下のとおり3回の講座を開催し、原始古代・中世・現代の印旛沼の様子などについて学んだ。

- ・対象:印旛沼流域の住民
- ・開催場所:ミレニアムセンター佐倉 ホール

開催日	テーマ	講師(所属)	聴講者数
R 3. 11. 13(土)	遺跡から見た印旛沼と人とのかかわり	小倉 和重 (公財)印旛郡市文化財センター)	38名
R 3. 11. 27(土)	印旛沼周辺を拠点とした千葉氏一族と城郭	遠山 成一 (千葉市立郷土博物館)	42名

R 3. 12. 11(土)	特定外来生物カミツキガメの生態や現状と課題	今津 健志 (千葉県生物多様性センター)	29名
----------------	-----------------------	-------------------------	-----

(3) 啓発・宣伝

① ホームページの公開

一般市民や関係団体に対して、インターネットを利用し当環境基金の事業等の紹介や印旛沼及び流域の環境保全等に関する情報を広く伝えるため、ホームページの内容を随時更新し公開した。

② 「水辺の風景画コンクール」(第24回)の開催

印旛沼流域内の小・中学校の児童及び生徒の水環境への関心を醸成するため、印旛沼及び流域の河川等や他地域で見たり触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集・審査し、選考した作品を公津の杜コミュニティセンター(愛称:もりんぴあこうづ)で展示した。さらに最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞の計16点の入賞作品については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、もりんぴあこうづにおける展示期間中(6日間)の来館者は、延べ601名であった。

- ・応募学校数: 101校(小学校: 86校、中学校: 15校)
- ・応募作品数: 2,295点(小学校: 1,929点、中学校: 366点)
- ・展示作品数: 252点(小学校: 207点、中学校: 45点)
- ・表彰: 最優秀賞1点: 井上 紗代(佐倉市立内郷小学校6年)
- 優 秀 賞2点: 櫻井 康晴(八千代市立八千代台東小学校3年)
- 染野 遥(船橋市立芝山中学校3年)

市町長賞13点

- ・表彰式: 令和3年11月7日(日)もりんぴあこうづ・多目的ホール
- ・展示会場: もりんぴあこうづ・市民ギャラリー
- ・展示期間: 令和3年11月2日(火)～7日(日)
- ・巡回展示: 流域市町(展示期間: 各市町5日間程度)
- 令和3年11月12日(金)～令和4年2月17日(木)

③ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形 式	部数	備 考
R 3. 8. 31	雑誌「印旛沼」(第42号)	A4判8頁	4,000	委託印刷

④ 刊行物等の展示・配布

印旛沼流域住民に印旛沼の現状と重要性の理解を深めてもらえるよう、当基金が主催する公開講座・助成事業成果報告会・水辺の風景画コンクール等において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、または有償頒布した。

(4) 環境保全団体等への助成

印旛沼及び流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小学校、中学校、高等学校、大学及びNPO法人を含む一般市民団体等を対象に、その活動を支援するため助成金を交付し、その成果についての報告会を開催した。

① 助成対象の団体

小学校1校、高等学校1校、NPO法人を含む一般市民団体7団体の計9団体

② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校及び団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

ア) 開催

- ・ 日時：令和4年1月21日（金）13時00分～16時10分
- ・ 場所：千葉県印旛合同庁舎 2階大会議室

イ) 講師：

- 松原 充久（千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事）
- 古嶋 美文（印旛沼流域水循環健全化会議 委員）
- 小倉 久子（元千葉県環境研究センター水質環境研究室長）

但し、所属及び職名は令和4年1月21日現在

ウ) 参加者：33名（講師、関係者を除く）

エ) 報告の課題名と団体

	題 名	団 体
1	印旛沼 新発見！	佐倉市立染井野小学校
2	印旛沼をよりよくして次世代に残そう	佐倉印旛沼ネットワークの会
3	印旛沼流域鹿島川における環境調査を通じた社会人向け環境教育の推進（3）	NPO 法人環境・地理探訪クラブ
4	印旛沼水系新川および桑納川周辺の水質汚濁調査	千葉英和高等学校 生物研究部
5	印旛沼流域の湧水調査と湧水マップ作製 その2	NPO 法人水環境研究所
6	里山保全と里山における自然観察等の活動	里山の会 ECOMO
7	竹林整備を中心とした里山保全活動	佐倉里山支援 28
8	印旛沼流域に於ける里山・水環境の調査・保全と市民啓発活動	NPO 法人四街道メダカの会
9	谷津のグリーンインフラを活かす水生生物の保護と生息環境の復元	NPO 法人ラーバン千葉ネットワーク